

会長就任にあたって

公益財団法人 東北活性化研究センター

会長 樋口 康二郎



このたび、公益財団法人東北活性化研究センターの会長に就任いたしました樋口康二郎でございます。会員の皆様をはじめ、関係各位に謹んで就任のご挨拶を申し上げます。

当センターは、1961年設立の「財団法人東北開発研究センター」と、1988年設立の「財団法人東北産業活性化センター」が2010年に合併して発足いたしました。以来、活動理念である「知をつなぎ、地を活かす」の下、地域と産業の活性化に貢献することを使命に、調査研究や地域プロジェクトの支援、さらには次代を担う人材育成などの実践活動に取り組んでまいりました。

私たちが暮らし、当センターが活動の基盤とする東北圏は、少子高齢化や若者の圏外流出などに起因する深刻な人口減少が他地域に先駆けて進むなど、多くの構造的課題に直面しています。その一方で、美しく豊かな自然に恵まれ、また東日本大震災という未曾有の災害を人々の絆で乗り越えてきた、力強さを秘めた素晴らしい地域でもあります。

当センターは、東北圏が持つポテンシャルと底力を活かし、地域として持続的に成長していくため、直面する社会課題の解決や産業活性化に向けた先駆的かつ独自性のある調査研究をタイムリーに進めてまいります。そして、研究成果に基づく具体的な提言を通じ、行政や企業などの取り組みにつながり、実効性ある解決策として社会実装を促していくことが当センターの果たすべき重要な役割であると考えております。

そのために、私たちは「産学官金」の各界との連携をさらに深め、地域が抱える多様な課題やニーズを的確に把握して調査研究に反映するとともに、地域に根ざした実践活動を着実に進め、成果を広く発信し、東北全体の活性化の原動力となるよう努めてまいります。

引き続き地域の皆さまとの対話を大切にしながら、当センターの活動の更なる充実に努めてまいります。今後とも格別のご理解とご厚情を賜りますよう、心からお願い申し上げます。